

A110

ALPINE


お車をお買い上げいただきありがとうございます。

本書の情報は、ALPINE 製品基本取扱説明書に記載の情報を打ち消す／補完するか、当該情報に優先するものです。

ここでは便宜上、次のシンボルマークを使用しています：

→ 取扱説明書内には、随所に、参照ページの記載があります。



（取扱説明書のいずれかに、警告、危険、安全上の注意の記載）。

この注意事項におけるさまざまなシステムの説明は、本書の構想の際に分かっていた技術仕様に基づいて作成されました。「クイック」ガイドには該当モデルの全バージョンの装備がまとめられています（標準装備とオプション装備を含む）。車両の各装備の有無はバージョン、オプションや販売国によって異なる場合があります。

同様に、同年内に導入が予定される新装備につきましても記載される場合がありますのでご了承ください。

取扱説明書の図は、例として提供されているものです。

満足のいくカーライフをお楽しみください。

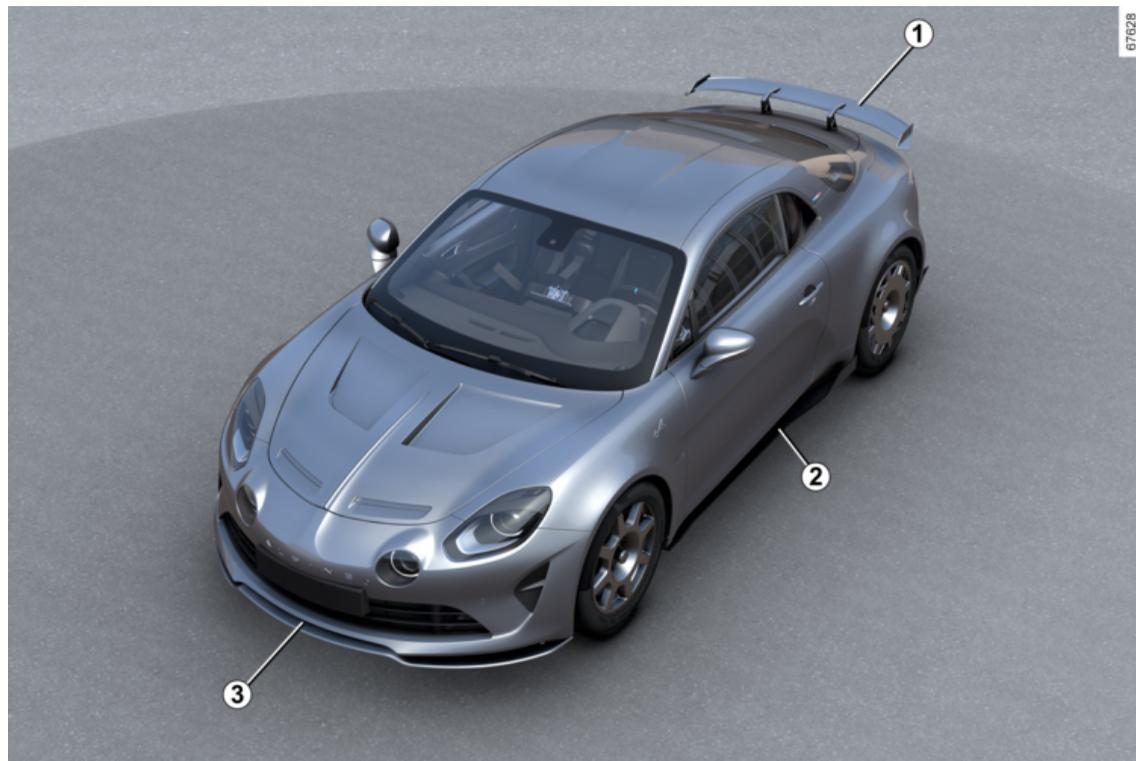
フランス語からの翻訳。たとえ部分的であっても，自動車メーカーの許諾書なしに本書の複製または翻訳をすることは、固く禁じられています。

要約

要約.....	3
外側.....	4
室内コントロールユニット.....	6
6点式シートベルト.....	8
シートベルトを補完する装置.....	10
チャイルドシート.....	14
エアロパーツ.....	17
車両寸法 (単位:m)	18
重量 (kg).....	20

外側

1

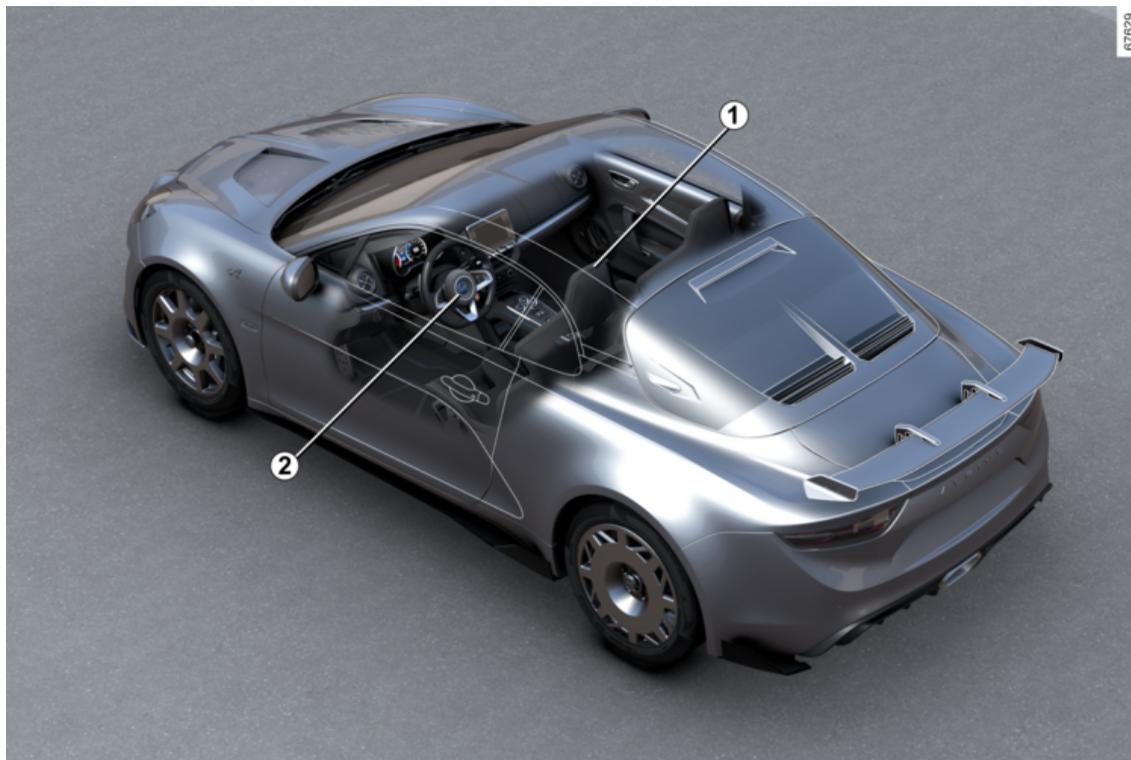


外側

1. リアスポイラ → 17
2. シル → 17
3. フロントブレード → 17

室内コントロールユニット

1



室内コントロールユニット

1. 運転席 → 8

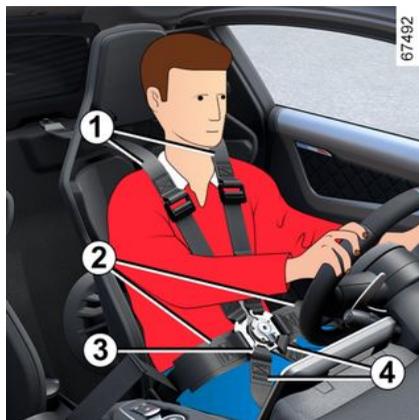
助手席 → 8

シートベルト → 8

2. 運転席エアバッグ → 10

6点式シートベルト

1



各シートには6点式シートベルトが装備されています。構成部品は次のとおりです。

- 2本の肩ベルト 1。
- 2本のサイドベルト 2。
- 1個のロックユニット 3。
- 2本の股ベルト 4。

肩ベルトはバックルのサイドベルトに取り付けられています。股ベルトはロックユニットに取り付けられています。

安全のため走行時には必ずシートベルトを着用してください。また各国の安全規格に従ってベルトの着用義務を果たしてください。

エンジンを始動させる前に、運転席のドライビングポジションの調整を行い、そして、全乗員の安全性が最大限

確保されるよう、全員のシートベルトの調節を行います。

ドライビングポジションの調節

- シートに深く腰掛けます（コートやジャケットなど脱ぐこと）。背中が正しい位置に収まるようにするために、深く座ることは非常に大切です。
- シートベルトとペダルの位置を調節します。ペダルを深く踏み込める位置を確認し、それより後方にスライドしないようにしてください。
- ステアリングホイールの位置を調節します。

ベルトの調節



発車する前にシートベルトを調節してください。方法：

- シートに座ります。
- テンショナ A を持ち上げ、関連ベルトの端部 6 を収縮させる方法で肩ベルト 1 を緩めます。
- テンショナ B を持ち上げ、関連ベルトの端部 6 を収縮させる方法でサイドベルト 2 を緩めます。

注：テンショナ A と B は自動的に元の位置に戻ります。



背もたれにしっかり背を着けて着席し、ロックユニット 3 をへその下に配置したら、2 つあるバックルの各々を、ロックユニット 3 上の対応するバックル内にロックします。

ベルトの締付けをきつくするには、端部 6 を強く引きます。テンショナ A の位置は、胸筋の上でなければなりません。そうならない場合は、肩ベルト

6点式シートベルト

の長さを調整してから、テンション A を下げます。



ベルトの調節が正しくないと、事故の際にケガの原因となります。

妊娠されている女性が車両を使用することは、あまりお勧めしませんが、乗る場合も妊娠中でも必ずシートベルトを着用しなければいけません。

この場合には、シートベルトで腹部に圧力がかかり過ぎないようにしますが、決してたるませないでください。

ロック

レバー 5 が「下げ」位置にあるか確認します。肩ベルト 1 のバックルを、ロックユニット 3 の対応するバックル内にロックします。各ベルトを引っぱってロックしていることを確認します。



シートベルト、シート、固定具など、もともと車両に装備されているシステムは絶対に改造や加工をしないでください。

- シートベルトをたるませるためにピンやクリップなどを使用しないでください。シートベルトが緩すぎると、事故が起きたときに負傷に繋がります。

- 絶対に肩ベルトを腕の下や背中に回さないでください。

- 同じシートベルトを複数の人間で使わないでください。また、乳幼児やお子様を膝の上に乗せてシートベルトを装着しないでください。

- シートベルトがねじれてはいけません。

- 事故後は、シートベルトを点検し、必要であれば交換してください。同様に、摩耗の兆候がある場合は、必ずシートベルトを交換してください。

- シートベルトのロックユニットに異物が挟まっていないか確認してください。挟まっているとベルトが正しく機能しない可能性があります。

ロック解除方法

レバー 5 を傾けます。ベルトがロックユニット 3 から引き出されます。レバーが下位置に戻るか確認します。股ベルトはロックユニットから外せません。

シートベルトを補完する装置

1

この装置は、運転席のフロントairbagで構成されています。

このシステムは、正面から衝撃を受けた場合に作動するように設計されています。

衝撃の強さに応じて、システムがフロントairbagを作動させます



– 万一車両が事故にあった場合は、指定サービス工場に全拘束装置の点検を受けてください。

– システムの部品（airbag、電子部品、配線など）には絶対に触れないでください。また、それらの部品を絶対に他の車両（たとえ同じモデルであっても）で再使用しないでください。

– 突然作動してケガをする恐れがありますので、airbagの修理点検は必ず正規サービス工場で行ってください。

– プリテンショナーの起動装置の電気システムに関する点検修理は、特別にトレーニングを受け、専用の機器を用意している指定サービス工場にお任せください。

– 車両を廃棄処分にする場合、airbagガス発生器を処分するために指定サービス工場にご相談ください。



airbag システムはパイロテクニクの原理で作動します。そのため起動すると熱を持ち、小さなノッキング音が起こります（火災ではありません）。airbag は瞬時に膨張しますので、その勢いでケガを負ったり皮膚に傷を負うことがあります。

運転席エアバッグ

これによって運転席側を保護します。ステアリングホイール上には、エアバッグ内蔵ホイールであることをドライバーに知らせるための「Airbag」マークが付いています。エアバッグシステムは次のコンポーネントで構成されています：

– ステアリングホイールに取り付けられているエアバッグとガス発生機（運転席）

– ガスジェネレーターの電動イグナイター制御システムを制御する電子制御ユニット

– インストルメントパネルに警告灯1



作動

このシステムは、イグニッションスイッチが ON のときのみ作動します。

シートベルトを補完する装置

正面から激しい衝撃を受けると、airbagが瞬時に膨らみ、ドライバーの頭や胸がステアリングホイールにぶつかる衝撃を緩和します。その後、エアバッグはすぐに収縮するため、車両から脱出する際の妨げになりません。

作動異常



イグニッションスイッチをオンにすると、インストルメントパネルに警告灯

1  が点灯し、数秒後に消えます。

イグニッションスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない、あるいはエンジンが始動しても点灯したままのときは、エアバッグシステムが正

常に機能していないことを示しています。

できるだけ早くルノー正規サービス工場での点検をお受けください。

点検整備が遅れると、万一の事故の際に十分な乗員保護効果が得られない恐れがあります。



- ステアリングホイールを絶対に取り外さないでください（指定サービス工場の技術者以外は絶対に行わないでください）。
- ステアリングホイールやボスを絶対に改造しないでください。
- どんな状況においてもステアリングホイールボスに物を被せないでください。
- ステアリングホイールボスには、いかなる物（バッジ、ロゴ、腕時計、携帯電話台など）も取付けないでください。
- ステアリングホイールに近すぎない位置（腕が少し曲がる位置）で運転してください（詳しくは、「運転位置の調整」に記載の情報をご覧ください）。ステアリングの調節によりエアバッグの十分な展開スペースと正常な効力を得ることができません。

シートベルトを補完する装置

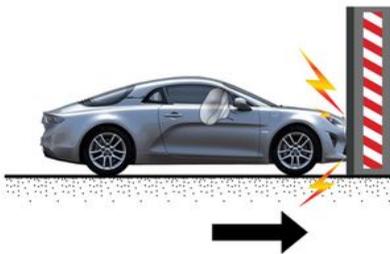
1



このチャイルドシートは
適応しないため、シート
ベルト装備の助手席に絶
対に取り付けしないでくだ
さい。

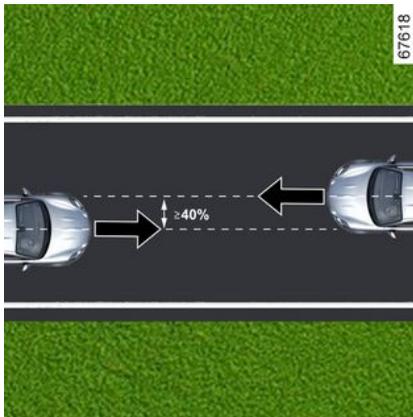
さい。

67617



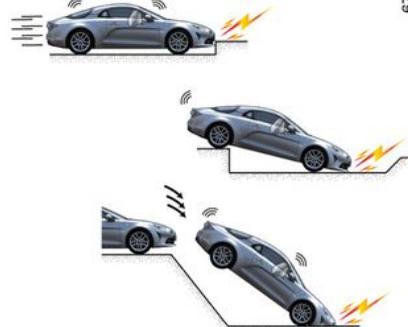
次の場合には、airbag が作動する
ことがあります。

25 km/h 以上の速度で、堅い（変形は
生じない程度の堅さの）箇所に正面か
ら衝突した場合。



67618

自車両の同等以上のカテゴリーに属す
る他車両と正面衝突した場合に、衝突
面積が 40% 以上で、両車両の速度が
40 km/h を超えている場合。

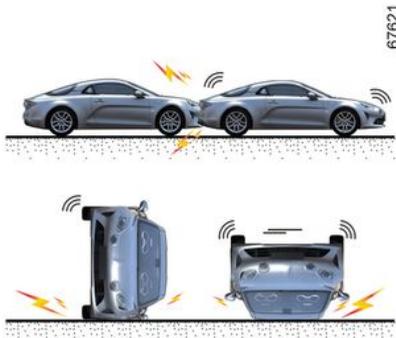


67620

次の場合には、airbag が作動するこ
とがあります。

- （舗装縁石に乗り上げたなどによ
り）車両底部に衝撃が及んだ場合。
- 穴
- 落下または衝撃を伴う落下
- 石
- ...

シートベルトを補完する装置



67621

次の場合には、airbag が作動しないことがあります。

- 車両後方からの激しい衝突の場合。
- 車両の転倒



67622

- 車両の前方または後方で側面から衝突された場合。
- ローリーのテール下で前方から衝撃を受けた場合。
- 鋭い角度の障害物に対する前部衝突
- ...

下記の警告は、airbag 作動の妨げとなるものを排除して、作動時の障害物飛散などによる深刻な負傷を防止するためのものです。



ドライバーのairbag

- ステアリングホイールやボスを絶対に改造しないでください。
- どんな状況においてもステアリングホイールボスに物を被せないでください。
- ステアリングホイールボスには異物（ステッカー、ロゴマーク、時計、スマホホルダーなど）を着けないでください。
- ステアリングホイールを絶対に取り外さないでください（指定サービス工場の技術者以外は絶対に行わないでください）。
- ステアリングホイールに近すぎない位置（腕が少し曲がる位置）で運転してください（詳しくは、車両取扱説明書第1章の「運転位置の調整」に記載の情報をご覧ください）。ステアリングの調節によりエアバッグの十分な展開スペースと正常な効力を得ることができます。

チャイルドシート

1 安全ハーネス装備車両



67632

チャイルドシート

 チャイルドシートの取り付けが禁止されている座席。

X = このタイプのチャイルドシートを取り付けるのに適さない座席。



このチャイルドシートは適応しないため、シートベルト装備の助手席に絶対に取り付けしないでください。

チャイルドシート

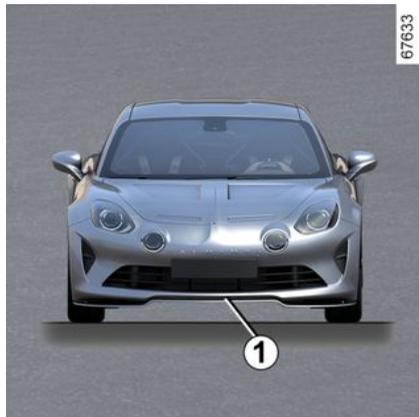
1

安全ハーネス装着車両：取付台

チャイルドシートのタイプ	子供の体重	フロントシート助手席
横置きの子供用シート グループ 0	< 10 kg 未満	X
後ろ向きの子供用シート グループ 0 または 0 +	< 10 kg まで、および < 13 kg まで	X
ベビーシート／後ろ向きチャイルドシート グループ 0 + および 1	13 kg 未満および 9 ~ 18 kg	X
前向き取付けチャイルドシート グループ 1	9 ~ 18 kg	X
シートリフター グループ 2 および 3	15 ~ 25 kg および 22 ~ 36 kg	X

エアロパーツ

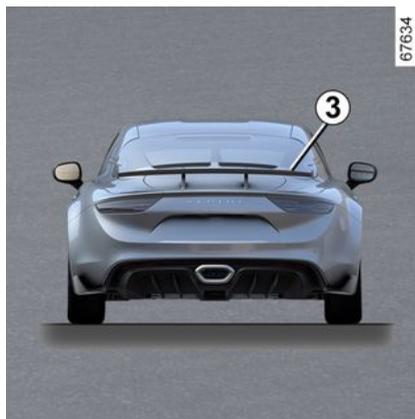
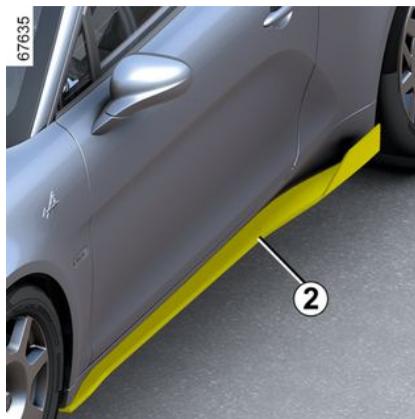
フロントブレード 1、シル 2 およびリアスポイラ 3



フロントブレード 1、シル 2 およびリアスポイラ 3 は、車両の安定した高速走行に寄与します。

損傷がある場合は、速度を下ろして、できるだけ早く指定サービス工場に連絡してください。

注：エアロパーツには圧力をかけないでください。



フロントブレード、シル、またはリアスポイラーは絶対に加工しないでください。

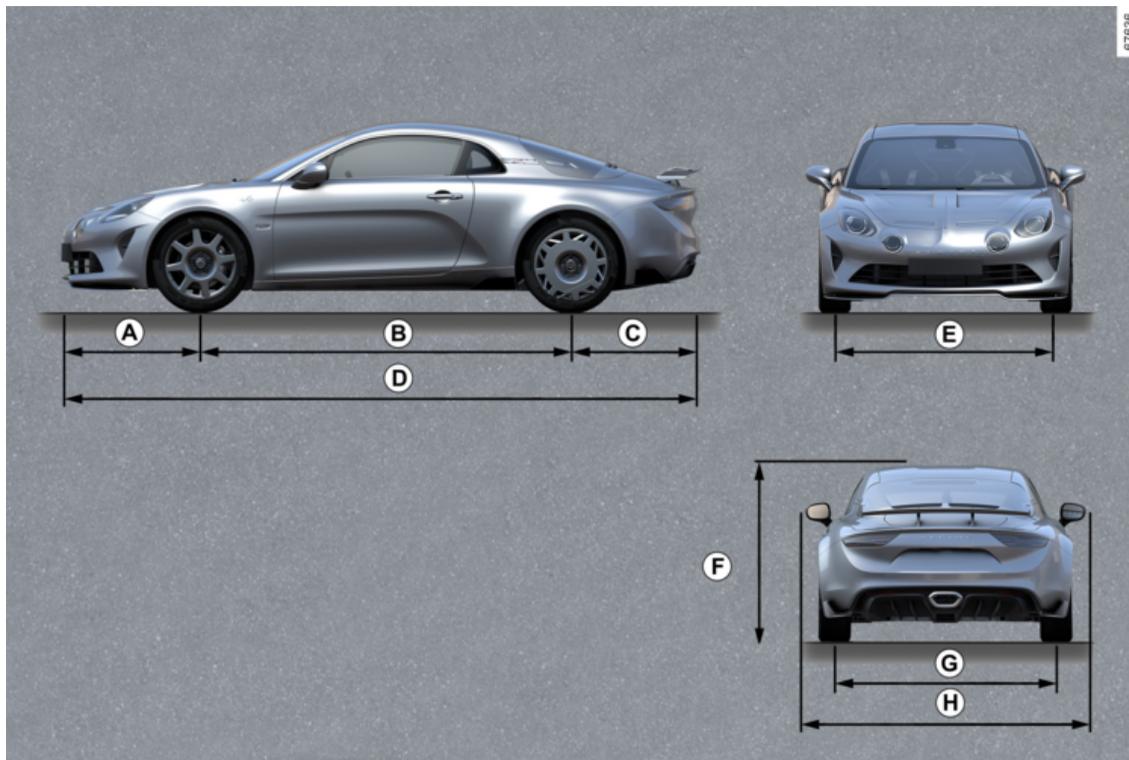
車両の下側に衝撃が加わった場合（例：支柱、縁石の隆起、その他のストリートファニチャー）、またはリアスポイラーに衝撃が生じた場合は、指定サービス工場に車両の点検を依頼してください。

ローラタイプの洗車機は絶対に使わないで下さい。詳しくは、車両取扱説明書第 4 章の「ボディ保守」に記載されている情報をご覧ください。

ケガや車両故障の原因となります。

車両寸法 (単位:M)

1



車両寸法 (単位:M)

	長さ
<i>A</i>	0,939
<i>B</i>	2,420
<i>C</i>	0,896
<i>D</i>	4,255
<i>E</i>	1,515
<i>F</i>	1,236 (空車時)
<i>G</i>	1,548
<i>H</i>	1,728 1.854 (ドアミラーを開いた状態) 1.798 (ドアミラーを折りたたんだ状態)

重量 (KG)

1

表示された重量はオプションの取付部品を含まないベース車両の重量です。重量は車両の装備に応じて変わります正規代理店にお問い合わせください。	
最大許容荷重 (MMAC) 最大許容軸荷重 (MMTA) 連結総重量 (MTR)	重量はメーカープレートに表示されています (詳しくは、車両取扱説明書第 6 章の「車両識別プレート」をご覧ください)
ブレーキ付きトレーラのけん引重量	不可
ブレーキなしトレーラのけん引重量	不可
トレーラー連結装置の最大許容重量	不可
ルーフ最大積載重量	不可

索引

A

Airbag、 [10](#)

エ

エアロパーツ、 [17](#)

キ

キロ（車両重量）、 [20](#)

シ

シートベルト、 [8](#)

シートベルト：シートベルト調整、 [8](#)

シートベルト：チャイルドシート、 [14](#)

シートベルト：運転席の調整、 [8](#)

ス

スポイラ、 [17](#)

チ

チャイルドシート、 [14](#)

フ

フロントブレード、 [17](#)

ロ

ロック、 [8](#)

開

開口部のロック解除／ロック、 [8](#)

作

作動異常、 [10](#)

車

車重、 [20](#)

車両重量、 [20](#)

車両寸法、 [18](#)

寸

寸法、 [18](#)



SOCIÉTÉ DES AUTOMOBILES ALPINE, SA par actions simplifiée à associé unique
AVENUE DE BREAUDE, 76200 DIEPPE - SIRET 662 750 074 / SITE INTERNET : alpinecars.com

NUC 1527-2 – 77 11 414 639 - 03/2024 - Edition japonaise



7711414639

